

# 7 安全・安心

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
児童が安全で安心して学ぶことのできる環境が整備されている	前期	良好	良好	交通安全教室、避難訓練など、計画的に実施されている。声かけ運動など地域の協力があり、児童の安全な登下校がなされている。学区内でも、危険なことをしている児童を見かけることはほとんどない。今後も、安全な登下校やヘルメットを着用しルールを守った自転車乗り、積雪時の安全な通行など、継続的に指導してほしい。また、危険箇所の確認をするとともに、何かあったら関係機関にすぐ連絡するよう留意してほしい。なお、今年度は見られなかったが、校舎から伸びた電線につららができるときがあり、危険を感じる。安全確保に努めるとともに関係機関にも連絡し、対策を講じてほしい。
	年度	良好		
評価指標		主な取り組み		自己評価B 前期 年度
⑭安全確保とリスクマネジメント体制の構築		校舎・校地の安全管理、交通安全指導、警察・地域生研との連携、地区巡視		4 4
		学校安全計画、災害時対応マニュアル・危機対応マニュアルの共通理解		3 4

学校の改善策	【前期→後期】
	<p>⑭ 校庭遊具等の定期点検について保健体育指導部で点検カードを作成し、後期からでも実施する方向で検討していきたい。保護者の安全指導や校舎内外の施設等の安全管理についての肯定率が昨年度前期よりも上がっているため、今後も子どもの安全ということを念頭に置いて指導や管理に当たってほしい。</p> <p>⑭ 児童アンケート、職員アンケートでは各項目とも肯定率が100%となっているが、登下校の安全指導、自転車の乗り方のヘルメット着用も含めた安全指導、危険回避能力の育成などについて、気を緩めずに指導に当たってほしい。</p>
学校の改善策	【後期→次年度】
	<p>⑭ 避難訓練、交通安全教室等の安全指導に関しては保護者、職員ともに肯定率が高く、次年度も計画的に安全指導を進めていきたい。地区巡視も定期的な巡視の他、適宜必要に応じて行ってほしい。</p> <p>⑭ これからも機会を捉えて災害対応・危機対応のマニュアルを確認し合い、子どもたちの安全確保に当たってほしい。子どもたちも避難訓練や防犯教室の実施を通して身を守る術を身に付けてきているので、継続して指導に当たりたい。</p> <p>⑭ 管理職が毎月の学校安全日を中心に校庭遊具等の定期点検を行ったが、指導部による点検カードの活用までは至らなかった。次年度は、年度当初から活用できるようにして、更に安全対策を推進していく。</p>

【各種データ】					
保護者アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑰	学校では、避難訓練や交通安全教室等、安全指導を適切に行っている。	3.7	98	3.7	100
⑲	校舎内外の施設設備は、子どもが安全に生活し、学習しやすい環境になっている。	3.4	96	3.4	96
児童アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑥	登下校や自転車乗りでは、交通ルールをよく守っていますか。	3.8	100	3.9	100
⑦	自分の住んでいる地区で、危険な場所はどこか分かりますか。	3.6	100	3.7	96
職員個人評価		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑭	校舎・校地の安全管理、交通安全指導、警察・地域生研との連携、地区巡視	3.2	100	3.2	100
	学校安全計画、災害時対応マニュアル・危機対応マニュアルの共通理解	3.1	100	3.2	100

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80～90%、前年度比103～107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60～79%、前年度比98～102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50～59%、前年度比93～97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下